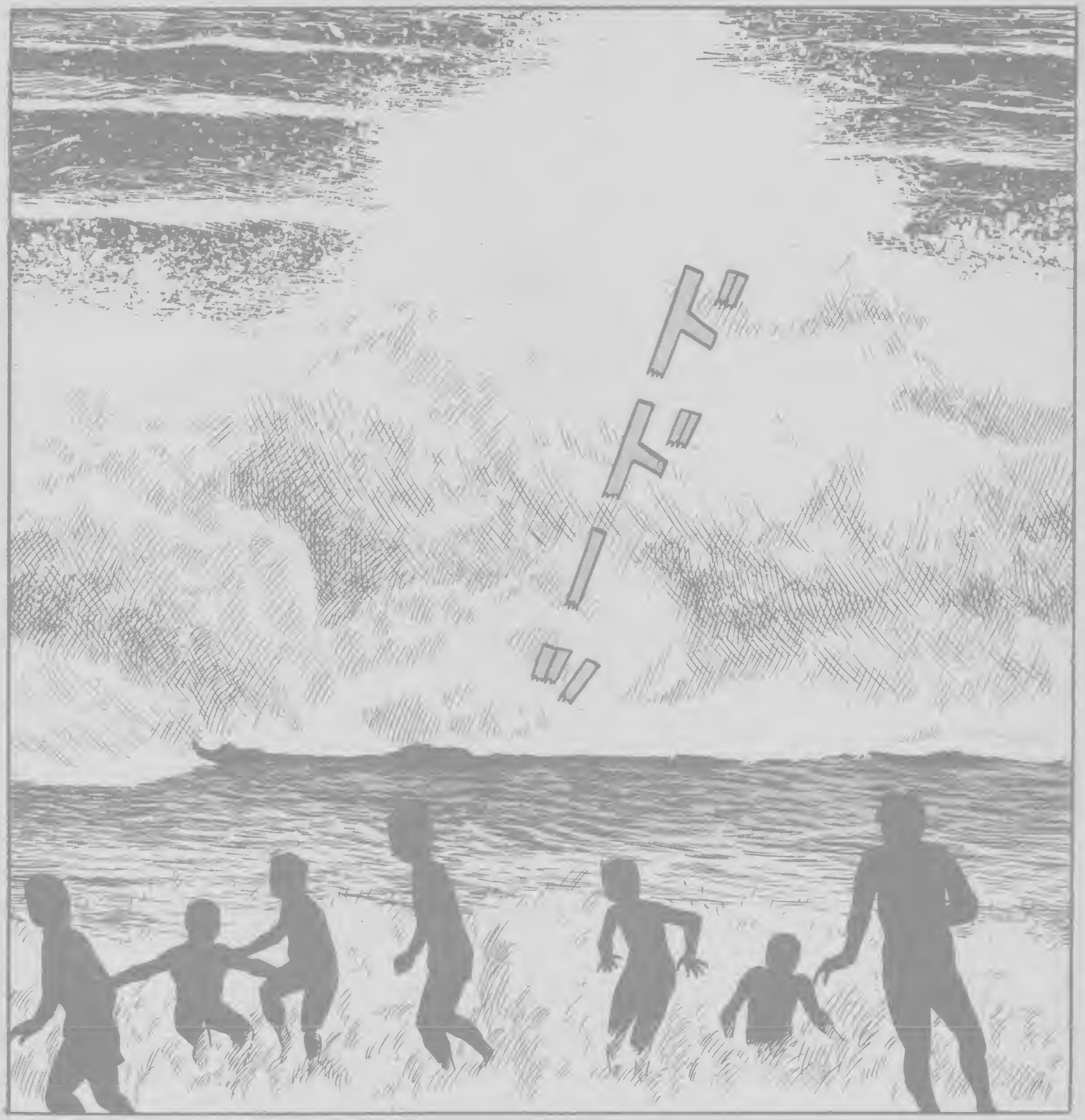
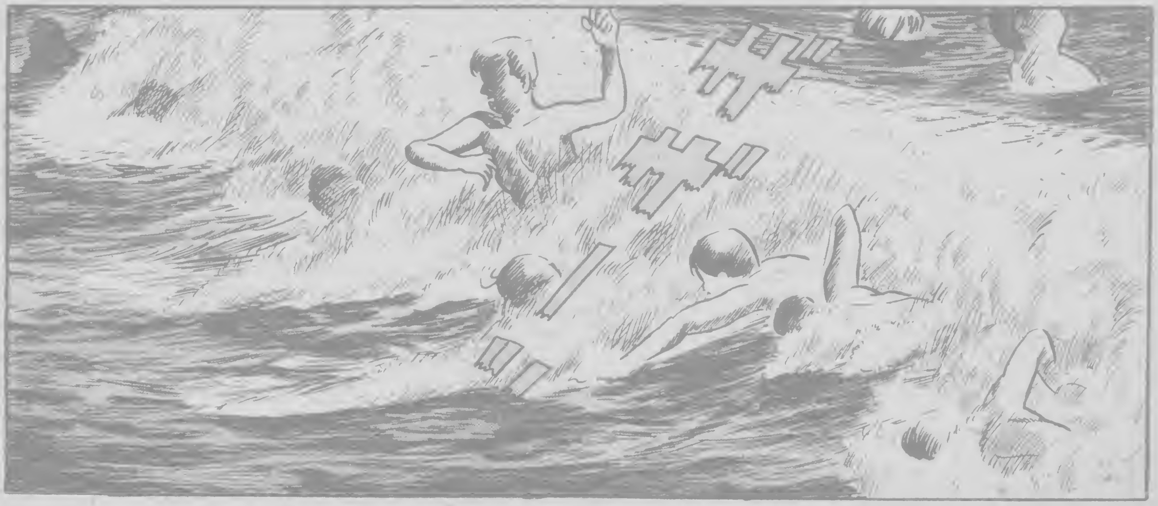
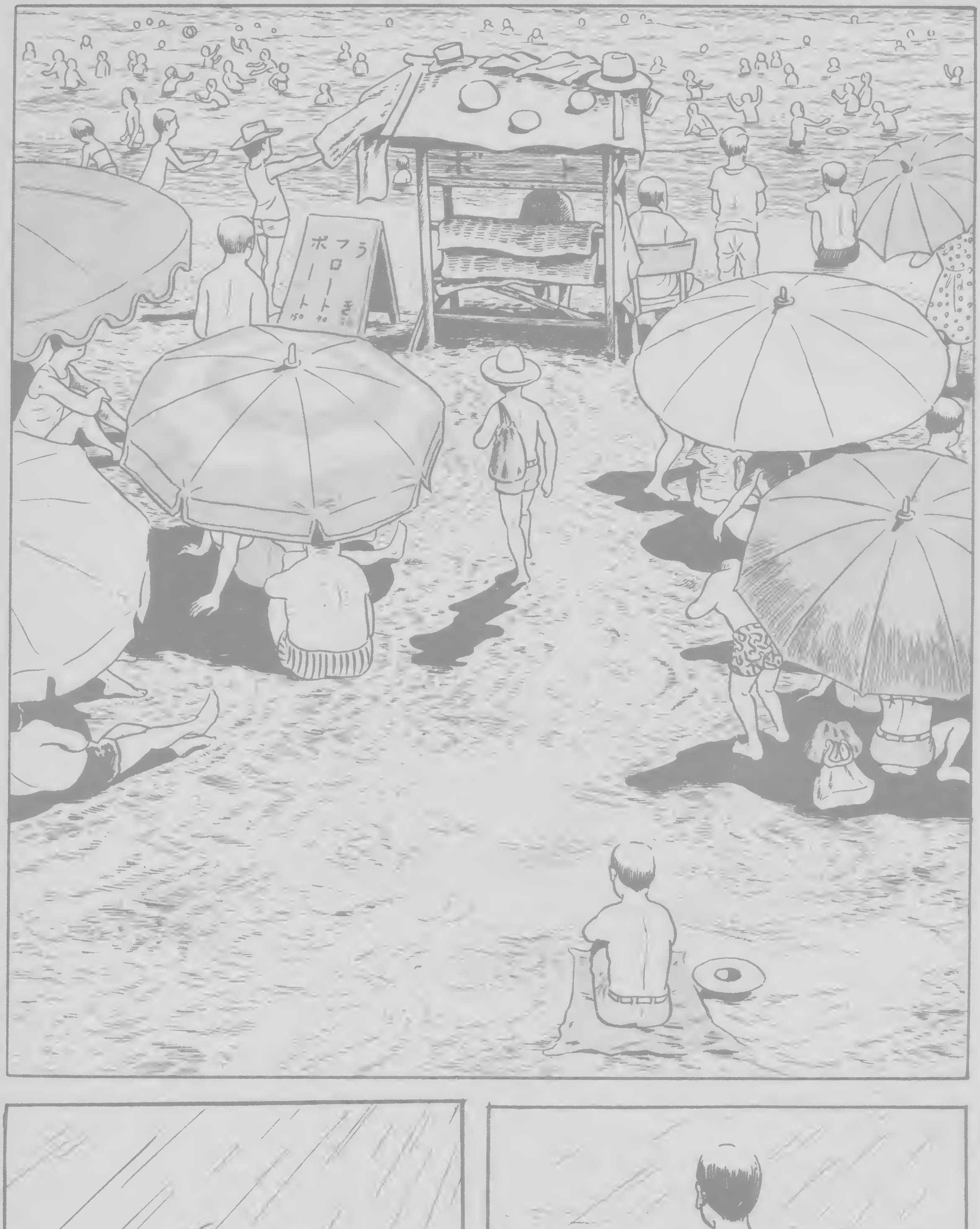
海辺の叙景

つげ義春


ドドーッ


ザザーッ

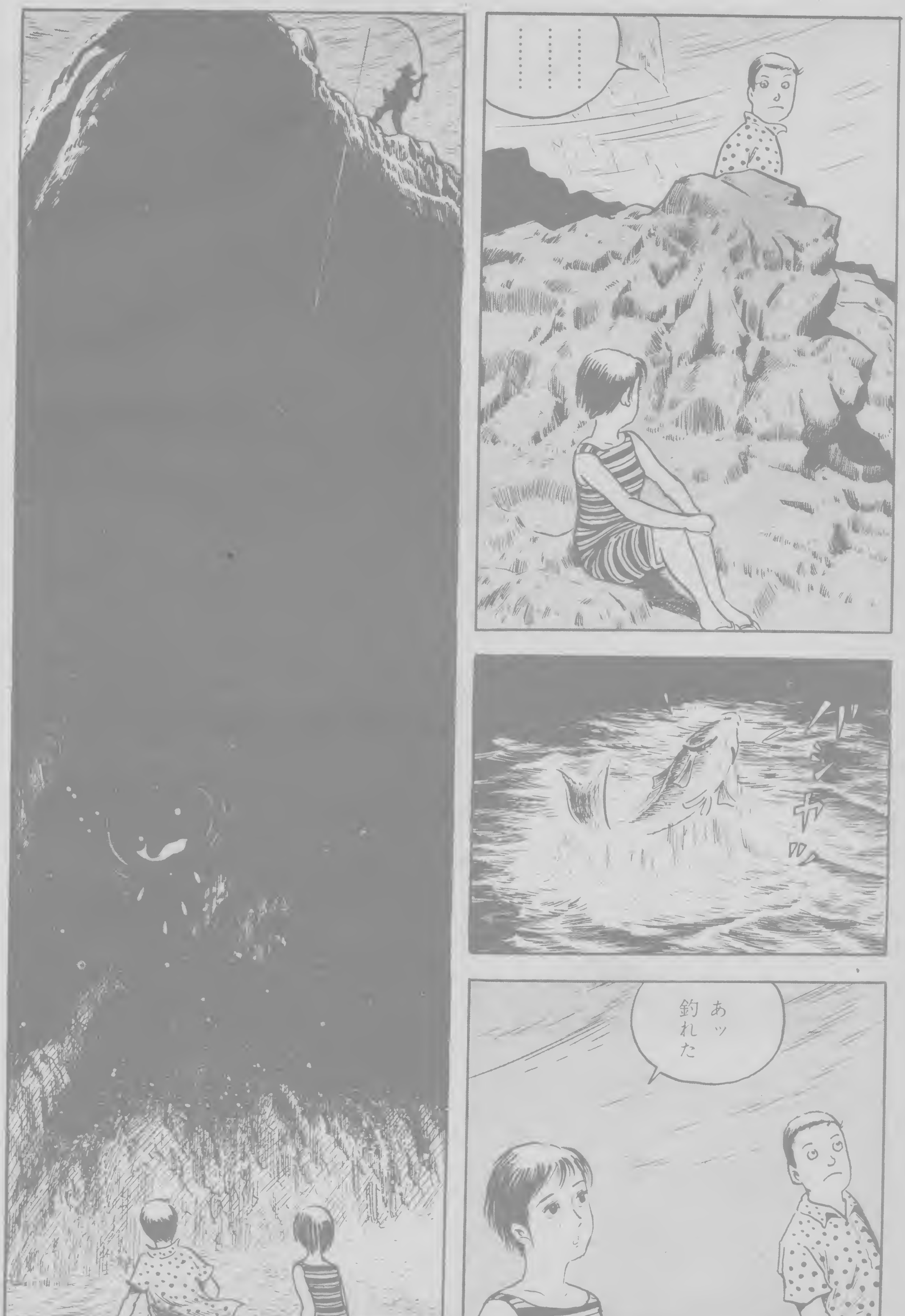

うき
フロート 70
ボート 150



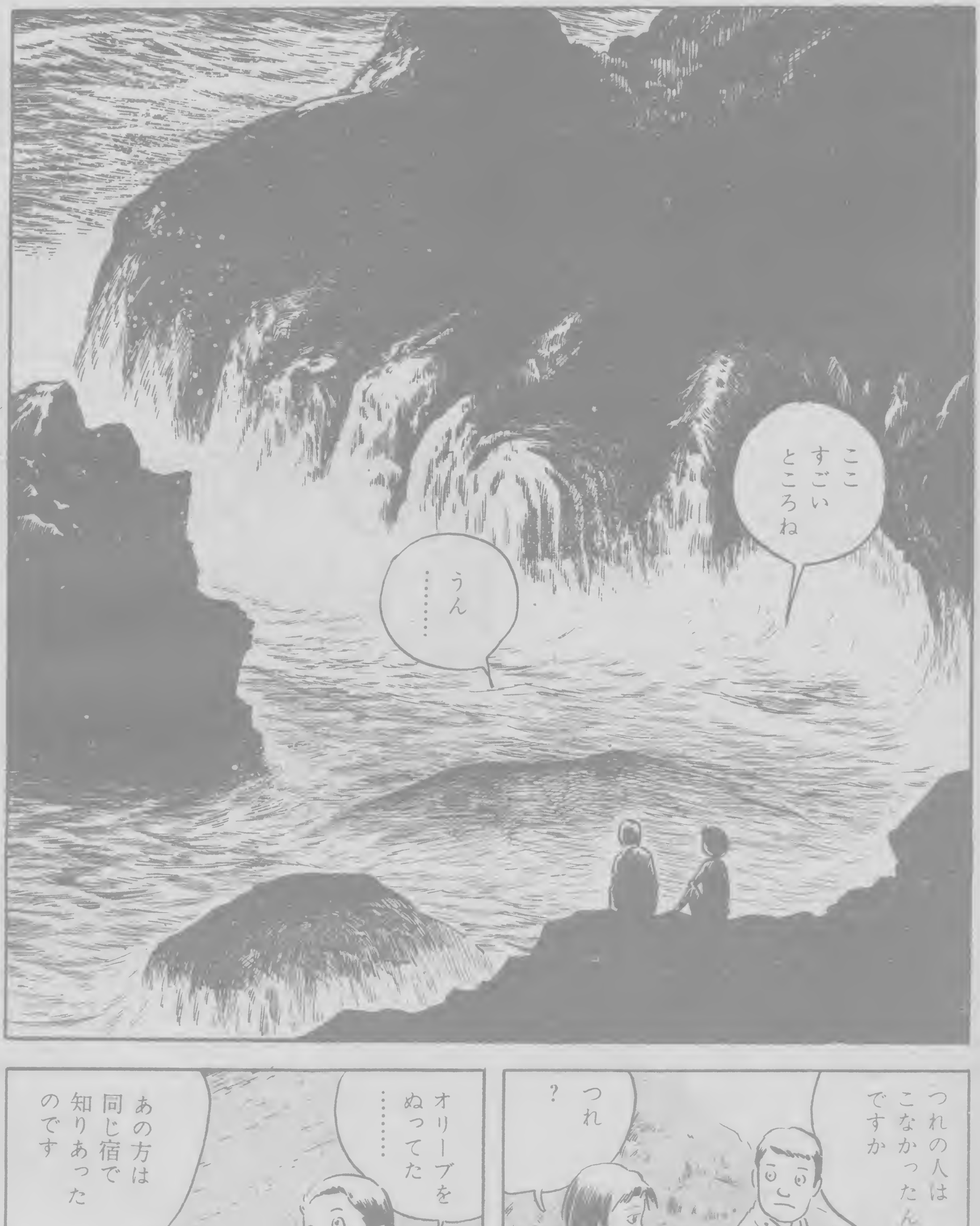

そんなに焼くと痛くて眠れんぞ
平気よ


そうだ
オリーブ油
ぬってくれる
砂
はらえよ
痛そうだ
なァ
真赤じゃ
ないか


ド
ド
ー
ッ


……
バシャッ
あッ 釣れた


プ
アア……おしいわね
なんて魚かしら
さあ……
あの……私忘れてきちゃったんですけど
一本いただけますか
どうぞ



ここすごいところね
うん………
つれの人はこなかったんですか
つれ？
オリーブをぬってた………
あの方は同じ宿で知りあったのです



私……むこうの……見えるでしょう
あの国民宿舎に泊っているんです
一人で？
一人の方が気が楽でいいわ
あなたも東京から？
母親にさそわれてしぶしぶ来たんです
日蔭のもやしみたいだから黒くなれと言われてネ
でも来てみてよかった
本当によかった
東京のうす暗いアパートでじっとしていては想像もできないくらいいい気分です
こういう気持がいつまでもつづくといいんだけど

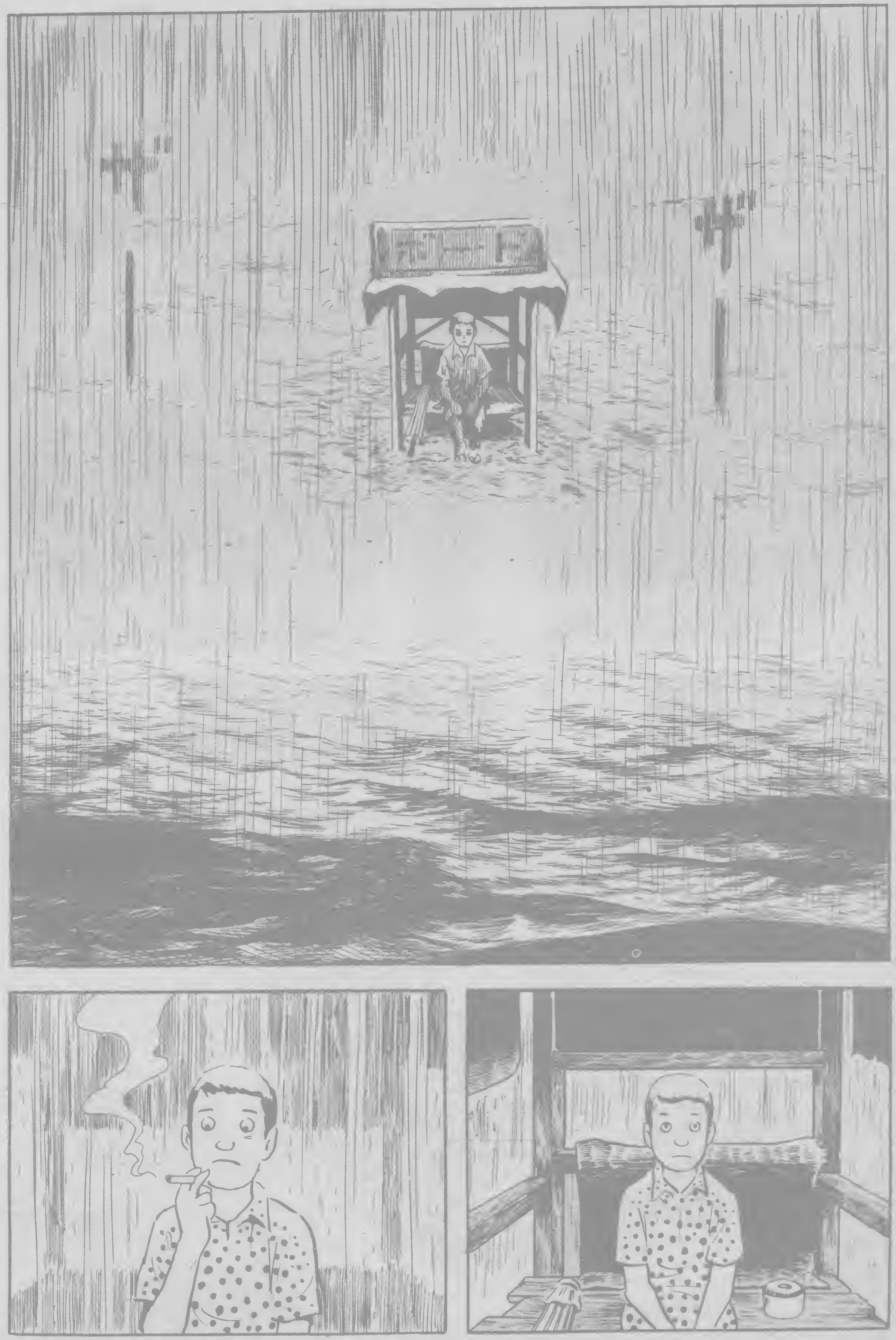

この海辺は母親の生まれたところでね僕もちいさいとき一年ばかりいたんです
懐しいでしょう
いやぜんぜん憶えていない
二十年ぶりだもの
伯母の家に来てるんだけどみんな知らない人ばかりでね
でも こういう海辺に親類があるなんてすてきじゃない
あら


さっきの魚よ
あの高さから落ちたのではたすからない
一ツだけ覚えてる……
?
昔あの岬のそばで漁船の網に土左衛門がかかったのです
港にあげられたのを見に行ったら全身真っ白になっていた
まあ
鼻の穴や口の中にびっしり藻がつまっててね……
漁師でも溺れることがあるの?


いや子供を抱いた女の人なんだ
………
子供は半分骨になっていた……
怖かったなア……
あの岬の下は蛸の巣でね無数の蛸に襲われたらたちまち骨にされてしまうんだ
信じられないわ
蛸って可愛い感じなのに
本当はドウモウなんですあの鋭い嘴を見ればわかる


あしたもくる?
うん


たぶんお昼過ぎに
じゃあ……


ザー
ザー




来てたの


ハア…しんど
雨だからこないと思った
ちょっと仕事してたのでおそくなったの
水着のデザイン？
水着はもうおそいわ………冬物の
あらどうして知ってるの？
なんとなくそんな感じがしたんだ
着てるものだってセンスがいいし
これタオルよ
だあれもいないね
かえって静かでいいわ

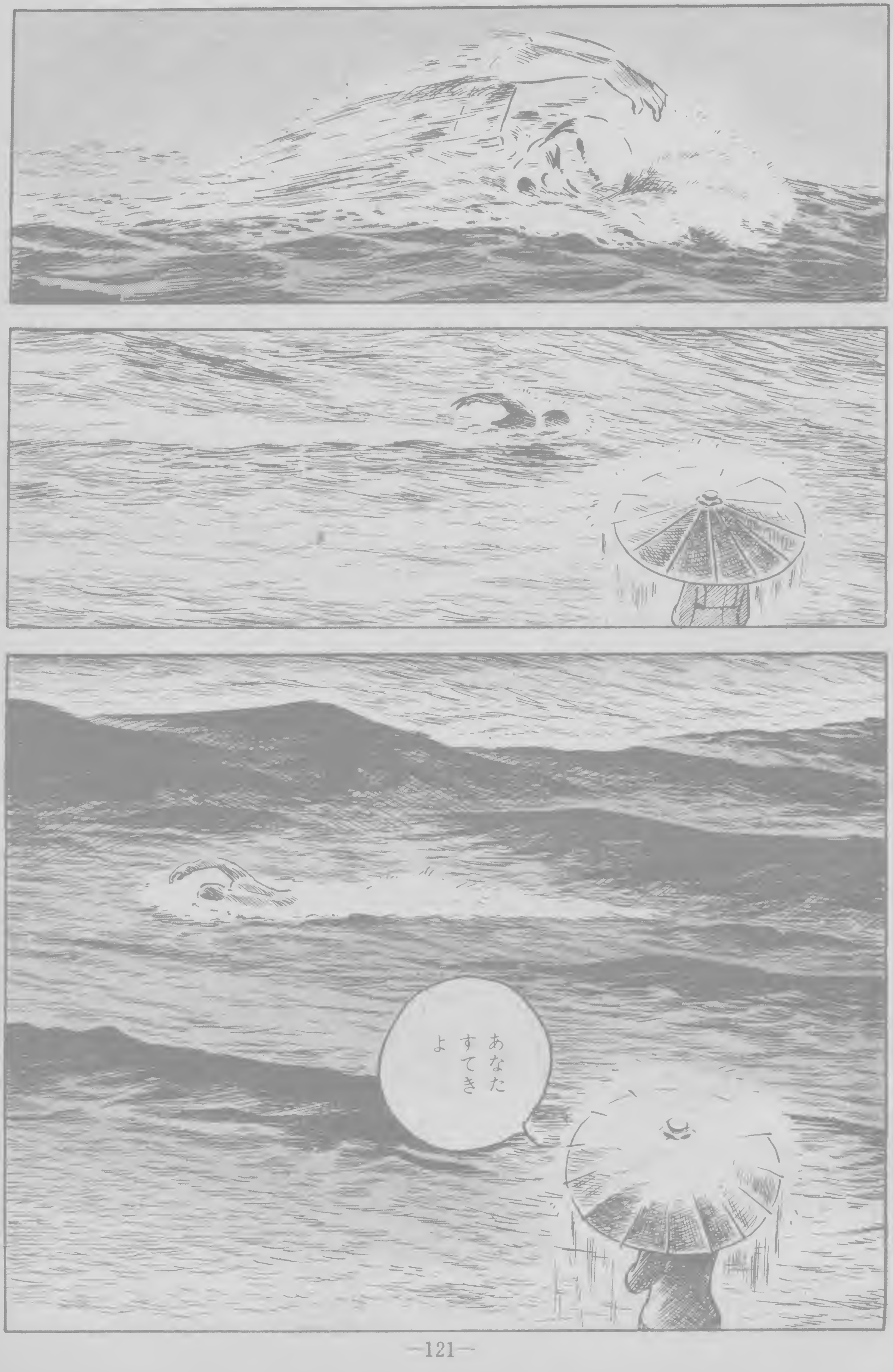

これたべる？
あらなにかしら
わッミツマメ！
伯母の家からこっそりもってきたんです
伯母は六十にもなるのにまだ海に潜ってるんだ
海女さんなの
ときどきテングサを採ってきては心太をこさえるらしい
あら心太は海で採れるの？
テングサをグツグツ煮て冷やしてかためるんです
ふーん愉しいわね
そういえば磯の香りがするみたい
それが本物なんだ
少し泳ごうかしら
エッ
寒いんじゃないかな
平気よ


明日は東京へ帰るから泳ぎおさめをしなくちゃ
あした……
それに私ものすごい勇気だして……
ビキニ着てきたの
すごいや
これで一度泳いでみたかったの
よく似合うよ
すごくきれいだよ
すごく
あなたいい人ね
……

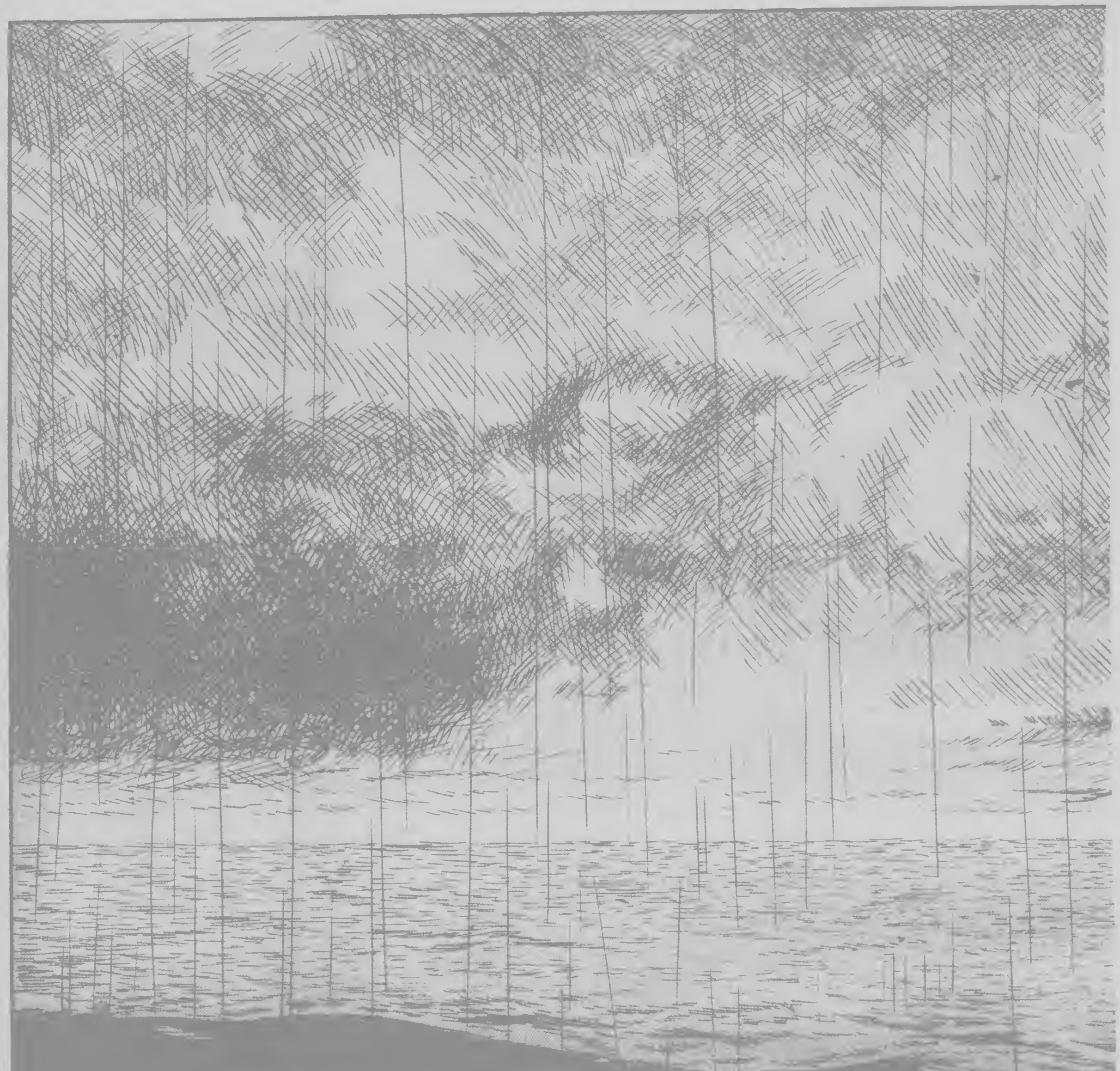

よし つき あおう
キャア
キャア
わあ いい気持


キャアキャア
あなた泳ぎ上手ね
こうみえても中学のとき一級の免状とってるんだ
だけど……いまは……体力が……
なくて……アア苦しい
そういえば痩せてるのね


あら昼がまっさお……
寒いの？
風邪ひくからあがりましょ
うん……いや大丈夫
褒められたからね
もう一度ちゃんと泳いでみせるよ
こう行ってこう……
ザザッ


あなたすてきよ


いい感じよ



完　42. 6. 30